広告

企画協力：読売新聞社ビジネス局

現地で学ぼう！クルマのリサイクル

vol.3 整備編

お訪ねした会社

社名：有限会社 新和自動車整備工場
住所：岩手県紫波郡紫波町
https://shinwajikou.com/

自動車について少しでも気になることがあれば、すぐに相談できる整備工場だよ。地域の「寄合所」にもなっていて、皆さんの暮らしを支えているんだ。

自動車の点検・整備はプロにお任せ！

人の移動や物の運搬から人命救助まで、さまざまな面で私たちの生活を支えてくれる自動車。実は、使い終わった後にそのほとんどがリサイクルされ、再び鉄・銅・アルミなどの資源に戻されているんだよ。この「クルマのリサイクル」シリーズでは、"自動車の一生"に携わる人たちの取り組みを紹介しているんだ。

3回目にやってきたのは、自動車の整備工場！ここでは、法律で決められた車の「定期点検」や「車検」を受けられるだけでなく、日々のちょっとしたメンテナンスやカーナビ等のパーツの取り付けなど、自動車に関するさまざまなサービスを受けられるんだ。みんなの住んでいる場所の近くにも、必ず自動車の整備工場があるはずだよ！

自動車リサイクル博士

ポイント1 なぜ必要？「定期的な点検・整備」

自動車は内部で複雑な部品がたくさん動いている上に、雨風にさらされたりもするので、乗っているうちに部品が傷んでしまうんだ。それを放っておいて、自動車が不具合を起こしたら、重大な事故に遭ってしまうかも…。だから、自動車を長く安全に乗り続けるためには、整備工場で定期的に点検・整備をしてもらうことが大切なんだよ。

新和自動車整備工場がある岩手県では、冬になると雪がたくさん降るため、道路には雪を解かすための薬剤である「融雪剤」がたくさんまかれる。その融雪剤に含まれる塩分は金属をさびさせてしまうので、冬の間は自動車が傷みやすくなってしまうんだ。

そこで、新和自動車整備工場では、車の購入時や秋の終わりの時期に自動車にさびを防ぐ塗装をすることをおすすめしている。「自動車がさびると、大規模な修理や部品交換が必要になったり、買い替えなくてはならなくなったりする場合もあるんです。なので、冬が来る前にさび止めの塗装をしておいた方が、結果的にお金と時間を節約できることが多いんですよ」と教えてもらったよ。

▲全体がさびだらけになってしまうと、修理できないことも…

ポイント2 隅々までチェック！「診断のポイント」

整備士さんたちは豊富な知識と経験を活かして、お客さんの自動車を点検していたよ。点検をする時に気を付けることについて整備士さんに聞いたら、「同じ自動車でも日々走る場所や距離が違えば、必要な整備は異なります。だから、自動車をじっくりチェックするだけでなく、お客さんと会話をして、いつもどんな使い方をしているかを聞くことも大切です」と教えてくれたんだ。

さらにコンピュータで詳しくチェックする診断方法も教えてもらったよ。車にタブレット端末やノートパソコンを接続し、専用のソフトウェアでチェックすることで、自動車の内部に異常がないかどうかを確認できるんだ。

ちなみに、この整備工場で点検・整備をする自動車の台数は、年間でのべ約4500台にも上るんだって！

▲まずは人の目でしっかり確認！

ポイント3 みんなにうれしい♪「リサイクル部品」

融雪剤による悪影響は、さびを防止する塗装などで対策をしていても、完全に無くすことはできない。だから、この地域では自動車の部品交換の頻度がどうしても高くなってしまうんだ。そこで活躍しているのが「リサイクル部品」だよ。

リサイクル部品というのは、使い終わった自動車から取り外された、まだ使える部品のこと。リサイクル部品の中でも、部品を取り外してきれいにしたものを「リユース部品」、部品の一部を新品に交換して再び組み立てたものを「リビルト部品」というんだ。リサイクル部品を使うと、費用を安くできるし、ゴミを減らして資源を上手に使うことにもつながるんだって。

「リサイクル部品は新品の半分くらいの価格で入手できる場合もあるので、積極的にリサイクル部品を選ぶ方もいらっしゃるんです」と教えてもらったよ。

▲こんなパーツもリサイクル部品で交換できる！

今回のまとめ

整備工場には、自動車のことなら何でも相談できる自動車整備士さんがいるんだ！日本全国の工場で、車に乗る人たちのことを大切に思って点検・整備をしてくれているよ。また、自動車を長く使い続けたり、点検・整備時にリサイクル部品を使うことは、ゴミを減らして資源を上手に使うことにもつながるんだね。

次回もお楽しみに！

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC
詳しくはこちらから
クルマのリサイクル 検索
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS